

## 9. みずほみんなの食堂

記録：山田美緒・成元哲

場 所：MYはうす 伊藤正人宅（瑞穂区高田町1丁目8番地の1）  
参加費：大人300円、子ども200円  
代 表：伊藤正人さん  
初 回：2016年8月30日（火）毎月1回  
参加日時：2016年12月18日（日）11：00～15：00（ボランティア10：00～）  
参加人数：子ども23人、大人19人（今回一番多い）、ボランティア19人（名古屋市立大学の学生がよく参加する）  
献 立：ケーキ寿司、肉団子と大根煮、マヨサラダ、味噌汁、おやつ  
（カステラ、りんご）  
☆メニューはいつも同じ方が考えている  
参 加 者：山田美緒、成元哲、星大輝

◎開催日数：月1回

- ①2016年8月30日（火） 大人15人 子ども12人 ボランティア15人  
献立：カレー サラダ おやつ（すいか）
- ②2016年9月25日（日） 子ども19人 大人13人 ボランティア15人  
献立：まぜごはん
- ③2016年10月30日（日）  
献立：和風麻婆豆腐、野菜たっぷりコロケサラダ、味噌汁
- ④2016年11月20日（日）  
献立：鶏団子、ポテトグラタン、味噌汁

◎きっかけ

定年退職した教員（伊藤正人）らの「九条の会」が活動基盤。呼びかけ人は友人・知人のつながりである。教員や保育士が多かったのが特徴である。

始まりは、2016年はじめに、伊藤真弓さんと平野真弓さんの二人が、こんなことやりたいと思っていると話したのがきっかけであった。

同じ敷地内に母が住んでいた住宅があって、母の死去後、そこをベースにさまざまな活動を展開している。その一つがみずほみんなの食堂。子どもに限定せず、地域の高齢者も参加している。

◎食材の寄付やカンパの団体・個人について

基本的にカンパは1口500円のサポーター募金である。今のところ団体からのカンパはない。今の状況では、宣伝費分が赤字なので、サポーターを増やす活動を検討中である。瑞穂区の社会福祉協議会から「サロンとして登録すれば補助金を出します。」と声がかかっている。コープあいちの福祉基金などにも応募しようかと考えてはいる。食材の一部（おやつや果物など）は、南区の長楽寺さんから提供していただいている。そのほかボランティアが自

分の家にあるものを持ち寄っている。

◎おかわり

ごはんはないが、おやつはなくなるまでおかわり OK

☆この日もおかわりする子が多かった（基本的に同じ子が何回もしていた気がする。）

◎その他

外国人の家族が二組いた。子ども同士が顔見知り（一部）

子どもを落ち着かせるため「読み聞かせ」をよく行っていた。

子どもにつくボランティアは基本学生で大人は2人くらい。他の方は調理をしていた

子どもだけでなく、お年寄りの方が来ていた（ボランティアではなく）

やんちゃな子が多い気がした（元気がある）

少し危ない（棒を振りまわすなど）遊びをしてもあまり注意をしない。

資料：みずほみんなの食堂のサポーター募集のお知らせ

これから、学習支援など、学生さんをまきこんで取り組んでいけるといいなあと思います。

◎写真

